

本を選ぶ

高校図書館版

NO. 24 1997年(平成9年)11月10日

●発行/ライブラリー・アド・サービス

本社 〒162 東京都新宿区下宮比町2-28 飯田橋ハイタウン517 TEL.03-3235-6168

ぶっく・えんど

個性と没個性

十数年ぶりにパーマをかけた。シャンプーとカットだけの時に比べると3倍くらいの時間がかかるので、普段あまり読むことのない雑誌をたくさん読むことができた。

私の通っている美容院では椅子に座ると自動的に雑誌が目の前におかれ、客が雑誌を選ぶことはない。さりげなく客の年齢層で雑誌が分類されているせいか、私の前に『anan』や『nonno』がおかれることはまずない。『クロワッサン』や『オレンジページ』がおかれる確率が高い。けれど、時間が長くなってくと年齢別分類雑誌では時間が持たなくなり、必然的に若者向き雑誌もおかれるようになる。

久しぶりに読んだ若者向き雑誌は最新情報とブランド物があふれていて見た目にも美しく、ワクワクドキドキして、それなりに楽しい。けれど、ひとつ気になることがあった。私自身が若かった頃も、若者向き雑誌はあったしダイエット記事も出ていた。が、美容整形の記事はあまりなかったように思う。あったとしてもせいぜい一重瞼を二重にする程度のもので、ごく簡単な目立たない記事だったと思う。

けれど今回読んだ雑誌には美容エステ、美容整形の記事が満載されていて、その内容もダイエツ

トから、歯の矯正、鼻梁手術、豊胸手術、脂肪吸引、部分痩せなど、身体のあらゆる部分にわたり、微に入り細にわたって説明されていて、近ごろの若者は本当に美しくなることに熱心なんだなと感心してしまった。そういえば、電車の中で若者たちが鏡を熱心に見て肌を気にしていたり、くしを取り出して一生懸命、髪をなでつけたりしている姿をよく見かける。

「外見なんて関係ない、中味が良ければいいじゃない」なんて建前は言わない。外見も中味も良いにこしたことはない。ただ美しさはひとつではないということは充分に分かってほしいと思う。同じような体つきに同じような服装、同じようなメイクをして同じような顔を作り、同じような物を持ち同じような言葉を話す。ここには美しさはひとつしかない。個人個人が没個性であることで若者全体の個性になっているという矛盾を感じてしまう。

一人一人の美しさ、個性の多様化は一人一人がそれぞれの価値観を持つことによって生まれてくるのだと思う。自分なりの価値観を持つには、多くのものに接し、体験することが一番だが、その体験の枠を広げ、想像の世界を大きく開いてくれるのが本ではないだろうか。体験することのできない不思議、忘れてしまった記憶、行ったことのない土地、さまざまなものが満ちあふれている本の中で、最も自分自身を表現しているものを探し出してほしいと思う。本来持っている自分自身の美しさを発見するためにも、鏡と共に本にも真剣に向き合ってほしいと思う。

(津田ミナ子：横須賀市)

子どもの情景から図書館の仕事を考えてみると一統一

中村吾子

現在の高校に転勤したのは、平成四年、勤めだして4年目のことです。長野県の西の端から東の端への転勤になりました。学校の規模は約2倍。赴任してまず、生徒が「うじゃうじゃいる」ことに驚かされました。

知人から聞かされていたのは、数年前までの「荒れている学校」としての姿でした。でも雰囲気的にも前任校とさして変わらなくて、私は案外簡単に、学校と図書館のなかにとけこむことができました。

学校司書の仕事

「あなたたち、学校図書館で、司書やりたい？ それとも、カウンセラーやりたい？」

そんな問いかけにドキッとさせられたのは、現在の高校に赴任してきた6月で、図書館教育研究会の講師、赤木かんこさんが、講演会ののつげにそう言ったのです。

かんこさんの講演の中で私が一番印象に残ったのは「病気の子どもたちが増えてきている」という話でした。「病気の子どもたち」というのは、愛情不足で不安定になっている子どもたちのことです。いまはやりの言葉でいうなら「アダルトチルドレン」ということになるのでしょうか。かんこさんの言葉に思い当たることがありました。

図書館へは毎日、いろいろな子どもたちがやってきます。カウンターに座っている私は、入ってくる子どもたち一人一人に、「お早よう」、「こんにちは」と、挨拶をなげかけます。もそもそと返事をする子。ドキッとした顔をする子。元気に挨拶を返してくる子。そして、目をそらす子。

現在の学校に赴任してきたときも、昼休みともなれば図書館はいろんな子どもたちで結構賑わっていました。もつとも、私自身のキャラクターもあるのでしょう。あまりうるさいことを言わないので、暇つぶし的に利用する子どもが以前より増えたようで、前からの常連さんには、「こんなの（こんなうるさいのは）図書館じゃない」と、

お叱りの言葉をいただいたりもしました。

にぎやかな図書館。人なつこい子どもたち。そこにあるのは、前任校の時と変わらない風景でした。でも一か月ほど経って、気になる生徒さんを見つけました。昼休みになると、彼女はいつも一人でやってきて、書架の前に立ち一冊の本を読みはじめます。誰かがその書架に近づくと、スツと脇によけます。予鈴がなると本を書架に返し、図書館からでていきます。毎日、その繰り返しです。初めての委員会の時、彼女が図書委員であることを知りました。挨拶の声にもこわばる背中。書架の前に立つ、何物をも拒否しているような彼女の背中でした。

もう一人の、彼。最初、離れた机に一人で座っていました。時々本を借りていきます。そんなときには二言三言、ほかの生徒さんにするように声をかけます。座っている位置がちよとずつ、カウンターに近づいてきました。カウンターにたまっている常連さんと私の会話に、背中がゆれました。そしていつしか、彼の定位置は貸し出しカウンターの一番端になりました。

最初の彼女、文化祭の準備に、とにかく真面目にやってきました。副委員長をしていた女の子が面倒見のいい姉御肌の子で、彼女を上手にひっぱり回してくれたのもよかったのかな。ポツツ、ポツツ、「保母になりたい」という将来の夢を話しはじめたのです。これには担任の先生も驚いておられました。ちよとずつ、書架の前に立つ彼女の背中から緊張感がとけていくのが、カウンターの中から見て取れました。

図書館難民の行方

休み時間の度に、必ず図書館へやってくる二人の男子生徒。いつも窓際の辺りでぼそぼそと話をしていました。たった10分の休み時間の度に彼らは必ず図書館へやってくるのです。そんな彼らを係の先生が「図書館難民」と名づけました。

教室の中で居場所を確保できない生徒たち。そ

れが「図書館難民」です。そういわれて気がついたのですが、結構いるんです。最初の彼と彼女もそうでした。そして、彼ら彼女らが卒業していった後も、毎年毎年、新たな図書館難民たちが図書館へとやってくるのです。

最近、新聞紙上で、保健室登校の問題が大きく取り上げられていましたが、実は図書館も同じような問題を抱え込んでいたのです。小学校に勤めている友人の司書は、まさしく図書館登校児を一年近く抱えていました。あるいは、研究会などで、授業も図書館で受けて、一日図書館で過ごしている生徒の事例が報告されたりもしました。

事務仕事をしている私の左側に、椅子をひっぱってきてちょこんとすわり、あいている左腕に抱きついてきた女の子。「どうしたの」と問えば、「こうしているととっても安心なの」とニコリと笑います。授業態度もまじめで、成績も良い彼女のこんな姿を、担任の先生は知っておられたのだろうかと思ってしまいます。書類を抱えて廊下を歩いていた私に、まるで幼稚園児か小学生のように抱きついてくる彼女。抱きしめて、背中をポンポンとたたいてあげると、安心したように次の授業へと走っていく姿に、私はまた、ドキッとさせられるのです。

私が「ここ」にいること

以前、司書仲間と、公共図書館と学校図書館の司書の仕事の違いについての話をしました。その時、私たちがたどりついた答えは、「公共図書館のカウンターで、人生相談をしていく利用者はそうはいないけれど、学校図書館のカウンターには、それが目的の利用者も多い」というのでした。

学校図書館へは、スキンシップに餓えている子どもや、周りとのコミュニケーションがうまくいかない子どもが集まりやすい、ということをお私はこの学校に来て実感しました。

司書室にきて泣きだした子どもに対して、「相談にのってあげるのは私の仕事じゃないから」と突放すことは、私にはできませんでした。その子

の抱えている問題を解決してあげることにはできないかもしれない。でも、聞いてあげることにはできます。そして、少し、整理してあげることにはできるかもしれません。

今全国には、人のいない学校図書館がたくさんあります。ここ数年、そんな無人の学校図書館に「人」をおこそう、という運動が盛んになっています。私自身、いろいろな集会や学習会に参加して、学校図書館の外の声に触れることができました。あるとき一人のお母さんが、「学校へ行っても教室へ入ることができずに、トイレにいます。せめて図書館に人がいて、いつも開いていたら」と、発言されたのです。

学校図書館の現場で、私たち司書に求められているのは何なんだろう、という疑問や不安が時折胸をよぎります。私たちは、図書館員としての資格を持ち、朝から夕方まで、子どもたちが学校にいるあいだはいつも図書館を開けて、子どもたちを待っています。私たちが司書であるなら、今私たちの抱え込んでいる問題の多くの部分は、私たちの仕事の範疇の外であるということができません。でも司書は司書でも学校図書館の司書であるとするなら、…。でもやっぱり、カウンセラーと司書であることのどちらかを選べといわれたら、司書しか選べないと思います。

図書館を構成する3要素は、本と場所と人なのです。この三つが揃って初めて、図書館は図書館として機能しはじめるのです。司書としての仕事の基本は、利用者が必要としている情報を提供することです。その情報は、本に限られているわけではありません。そして、学校図書館へやってくる利用者、子どもたちが時として「人」をもとめてやってくることを私は7年間の中で知りました。

今、私が関わっている子どもたちは、図書館にどんなイメージを抱いているのでしょうか。できることなら、卒業してからも時には自分自身の思い出として、学校図書館を思い出してほしいものです。(なかむら あこ：長野県軽井沢高校図書館)

コンピューター化達成 そして産休に 私のコンピューター導入奮戦記一補遺一

使えなかったCD-ROM

『本を選ぶ高校図書館版23号』で、うちの学校に入っているCD-ROMの一覧をお知らせしました。その中で、まだ使われていないけど、『インターアクティブ百科 サイエンス』『インターアクティブ百科 ネイチャー』『インターアクティブ百科 世界の歴史』というのを今年購入したと書きました。

さて、いざインストールしてみると、パソコンにうまく入らないのです。うちの図書館に入っているCD-ROM専用のハードは、PC9821Be。入っているウィンドウズは3.1です。確かにちょっと前の機種ですが、『インターアクティブ百科』のカタログにはウィンドウズ版対応ソフトと書いてあるだけで、ウィンドウズ95を指定してあったわけではなかったのに、発売元のデジタルパブリッシングに問い合わせたら、あっさりウィンドウズ95じゃないと動かないと言われてしまいました。

それから大弱り。このままでは、けっきょく宝の持ち腐れになってしまいます。どうしようかと悩んでいたら、ちょうどいちばん最初にパソコンが入った時に活用させてもらった学校の“施設設備の近代化事業”の予算募集のお知らせが職員会議でありました。これに頼るしかない！ということで、あわてて資料を取り寄せ、予算要求書を作り、図書部会で承認を得て、CD-ROM検索用のパソコンをもう一台増設してほしいという要望書を提出しました。

そうしたら、たまたま他に大物の要望がなかったこともあって、本当に運良く、パソコンを買ってもらえることになったのです。そうだから良かったものの、パソコンがなかったら、ソフトは眠ったままでした。みなさんも、カタログはよく読んで、かつ、心配なことは発売元に問い合わせをして（販売業者には確認を取ったのですが、発売元には問い合わせしなかった）CD-ROMを購入しましょう。

さて、7月に入って新しくウィンドウズ95対応のパソコンを買ったのですが、今度は今まで

使っていた、別付けて買った六連装のCD-ROMチェンジャーとパソコンの相性が悪く、まだチェンジャーから読み込ませる形でCD-ROMが動かしていません。一応、パソコンに内蔵のCD-ROM読みとり機で動かせるように『サイエンス』『ネイチャー』『世界の歴史』をセットアップして動かしてみたのですが、不慣れなせいか、まだあまりこのCD-ROMはお勧め！便利！という感じはしていません。必要な情報を検索していくソフトというより、科学や歴史に興味がある人が楽しみのために読んでいくソフトという感じが強いのです。だから、例えば元素記号を調べようと思っても、キーワードをバツと入れてそれでサツと引けるといってより、一つ一つ扉を開いて必要な情報にたどり着くという感じです。まあ、これも実際に生徒が使って、評価がでるのでしょうか…。

繰り返しになりますが、CD-ROMが活用されるか否かは、その図書館の運営方法や司書の利用のすすめ方にかかっています。くれぐれも宝の持ち腐れにならないようにと、自分への自戒の念も込めての教訓でした。

まず、「かすぞう君」のマニュアルを作る

とつぜんですが、7月17日から産休に入ることになって、代わりにきてくれる司書さんのためにマニュアル作りをしなくてはいけなくなりました。

今までパソコンのマニュアルを作らなくてはずっと思っていたのですが、日常業務に追われてなかなか手が回らなかったのです。それで、産休に入ってから学校にシコシコ通って、約1か月かけてマニュアルを作りました。

何回も繰り返してお話していますが、うちの学校は蔵書登録用ソフト「LIBROS」と貸出用ソフト「かすぞう君」に互換性がありません。産休代替の方は日常的にパソコンを使っている方をお願いできたので、CD-ROM関係はそのものマニュアルを見てもらうことにして、まず、「かすぞう君」のマニュアル作りから作業を始め

ました。

「かすぞう君」に関して作ったマニュアルは次の通りです。

- ・バックアップの取り方
- ・図書データを「かすぞう君」に取り込む方法
- ・「かすぞう君」内でのデータの修正の方法
- ・督促状の出し方
- ・統計集計の出し方
- ・「かすぞう君」で起こったトラブルの対応について

何日かいっしょにカウンターに立って利用者への対応をすることができたので、通常の「貸出」「返却」「検索」などの基本的な操作については、口で説明して覚えてもらいました。基本的な操作は、図書部の先生や図書委員の生徒も知っているからだいじょうぶだと思ったんです。が、司書だけが知っているサポート業務については、マニュアルがないと対応できません。私もマニュアルがないままいただいた「かすぞう君」を使って、困ったことがあったら電話でやり方を聞いて解決してきたので、実際に使い方を文章化するにあたって、何が困ったんだか思い出すのに苦労しました。

マニュアル作りは実際にその作業をやって、それをメモしてワープロで打って、その動作確認を代替の司書さんをお願いして、わかりにくいところは書き直すという形で進めました。これでだいじょうぶだろうと思っていても、文章化するとわかりにくいところがあったりして、それを指摘してもらって直すことができたのは二人でやったメリットだと思っています。

「LIBROS」のマニュアルを作る

さて、苦心したのが、「LIBROS」のマニュアルです。「LIBROS」には元々、専用のマニュアルがついているし、「LIBROS」の元になっている「DATA-BOX」のマニュアルもあるので、それを丹念にみてもらえばわかるのですが、そんなことをしていたら、日常の図書館業務に差し支えてしまいます。それだけでなく

も細かい私は、日常の利用者への対応のこと、予約への対応、レファレンス関連、新刊案内の発行について、本の整理の方法、会計処理の方法など、パソコンと切り離れた部分でもマニュアル的なものを作って細かくお仕事をお願いしたので、新学期からは日常業務に追われることがみえみえです。夏休み中に、本の受け入れをはじめとして「LIBROS」に慣れてもらおうと、必要最低限の作業内容をマニュアルにしました。それが次の項目です。

- ・新刊の受け入れについて
- ・「LIBROS」での手入力の方法について
- ・図書部会選書資料の入力について
- ・選書して発注した本の受け入れについて
- ・過去に買った本のデータを複写して入力する方法
- ・新刊案内を作成する際のデータの落とし方
- ・データのバックアップの取り方
- ・コミックのデータ入力について

このマニュアルも実際に私が作業して、文章化し、それをやってもらって、わかりにくいところを直すという形でつくっていきました。時間があれば、『J-BISC』のデータを「LIBROS」に取り込む方法というのも作りたかったのですが、私が産休・育休中の半年間で、『J-BISC』からデータを取り込むというのはあまりないだろうと考えて、今回はそれはパスしてしまいました。うちの学校での予約本以外の選書は、おもに、①選書資料（『週刊新刊全点案内』と『Do Book』）を使って必要なデータをすべてフロッピー入力してから書店に発注する、②書店の店頭買い、そのどちらかなので、『J-BISC』からデータを落とすことは大量に現物購入に行って発行年が古い本を抜いたときくらいなのです。でも、『J-BISC』からのデータの取り込みのマニュアルも必要だと思っています。

さて私がお休みさせてもらう半年間の間、パソコンに関してどんなトラブルが起こるか、他人事のように、ちょっと楽しみでもあります。

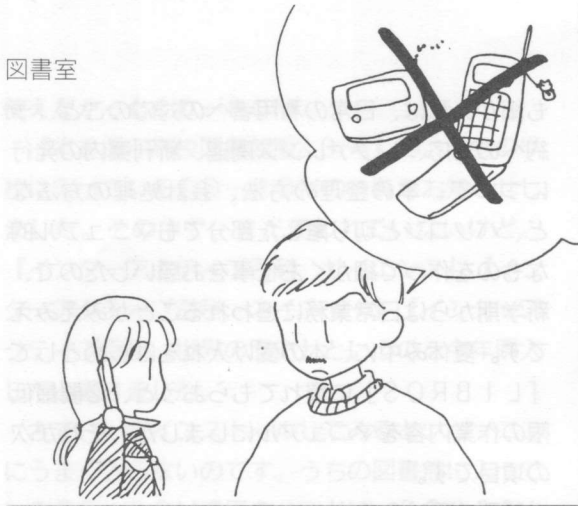
（きのした みちこ：埼玉県岩槻商業高校図書館）

図書館内では…

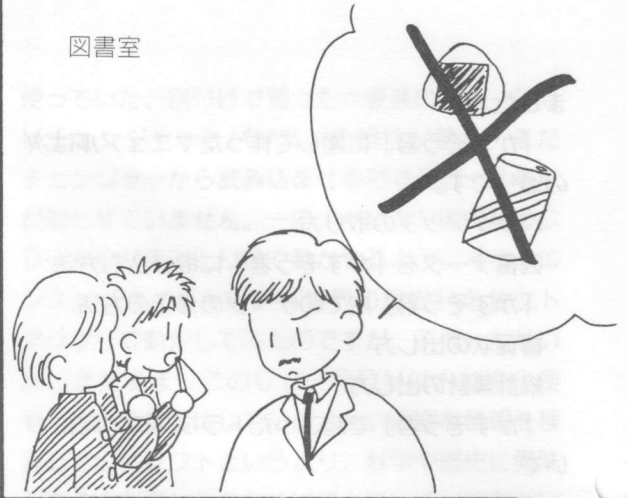
穂積絵理子

埼玉県立庄和高校図書館

図書室



図書室



司書室



司書室



コンピュータ関連書籍出版の アスキー

『マルチメディア図鑑シリーズ』をはじめとする授業をいきいきさせるCD-ROM学習教材や、『みえるシリーズ』などのCD-ROMと書籍が連動したOSやアプリケーションソフトの入門書など、コンピュータ教育にご活用いただける様々な書籍を多数取り扱っております。

コンピュータ関連の書籍をお求めの際は、ぜひお気軽に、お声掛けください。活用の目的などに応じて商品のご紹介や内容レベルなどのご案内をさせていただきます。

株式会社アスキー 出版営業部 (学校採用担当: 池田、松平)
〒151-24 東京都渋谷区代々木 4-33-10 Tel:03-5351-8194

20世紀の記憶。ユダヤ人虐殺の全容。

UN FILM DE
CLAUDE LANZMANN

SHOAH

ショア

話題の映画「SHOAH」、ついにビデオ化!

本体価格88,000円(税抜)

全4巻 541分

使用期間:西暦2004年5月19日迄

発売元:日本ヘラルド映画 販売元:図書館流通センター
提 供:シグロ/エースピクチャーズ/日本ヘラルド映画

ご発注先

株式会社図書館流通センター物流管理部ご注文承り係
TEL048-478-9130
FAX0120-889934・119934

女性史のさらなる飛躍を求めて 総合女性史研究会編

日本女性史論集

全10巻

刊行開始

古代・現代の基礎的論文をテーマ別に集成し、女性史の新たな地平を開く。A5判／各巻五七〇〇円

- 1 女性史の視座
- 2 政治と女性
- 3 家と女性
- 4 婚姻と女性
- 5 女性と宗教
- 6 女性の暮らしと労働
- 7 文化と女性
- 8 教育と思想
- 9 性と身体
- 10 女性と運動

10月より、巻数順に毎月一冊ずつ刊行

人物叢書

日本歴史学会編集
9年10月現在／既刊208冊
四六判／平均一八〇〇円

〈既刊の一部〉日本武尊／聖徳太子／蒙式部／源義経／日蓮
／武田信玄／千利休／淀君／徳川吉宗／上杉鷹山／勝海舟
価格 113 東京都文京区本郷七二二一八
税別 電話〇三―三八一―三一九一五
吉川弘文館

盲導犬ってどんな犬？

盲導犬誕生

社会福祉法人
日本ライトハウス監修



平野隆彰著 時折、街なかで見かける盲導犬。かしこく、献身的な彼らは、一体どのようにして育てられるのでしょうか。彼らの一生を追い、そこに関係する人たちの、苦勞や愛情を紹介します。 一六〇〇〇円

盲導犬 イエラ

日比野イエラ著
日比野 清監修

目の見えない人の、人生をも共に歩む盲導犬。献身的な彼らは普段、一体どんなふうに通じているのでしょうか。知られざる盲導犬の日常生活と、そこで出会った様々な問題をイエラがいきいきと語ります。 一八〇〇〇円

ミネルヴァ書房

〒607 京都市山科区日ノ岡染谷町1
電話〇七五―五八―〇二九六
宅配可(三三八〇)／価格は税別

大きな活字で、くらくら読書!

いきいきトーク知識の泉 ②

著名人が語る 考えるヒント

司馬遼太郎他、21世紀を生きる時代を超える先人の知恵。各界の専門家・識者47人が語る講演録集成!
●全16巻 ●揃定価：揃本体59,200円(税別)

ポピュラーミステリーワールド

戦前の探偵小説から推理小説へ一挙に本格化した戦後のミステリー文壇の巨匠、異色作家たちの名作を大きな活字で収録した画期的全集!! 中島河太郎・監修
●全15巻 ●揃定価：揃本体54,000円(税別)

リブリオ出版 〒112 東京都文京区大塚3-5-11
TEL.03-3943-8885 FAX.03-3943-3540

イラスト版食材の本 全3巻

子どもとマスターする食の知識

赤塚栄養専門学校(編)・赤塚永子(監修)／服部幸應氏他推薦
①野菜・きのこ編 ②さかな・く編 ③くだもの・まめ編
知っておきたい、教えたい身近な150の食材の旬、選び方などの知識と料理法を満載。子どもとできる簡単料理レシピ付き。●B5判・112頁・定価各1680円(税込み)



親と教師のための覚せい剤問題入門

中学生・高校生を薬物汚染から守るために
子どもと教育・文化を守る埼玉県民会議(編)／薬物汚染禍から、子どもたちを守るために、とりわけ中高生の子どもの持つお父さん、お母さん、先生方に読んでいただきたい入門テキストです。●A5判・112頁・定価1050円(税込み)

イラスト版修理のこつ

子どもとマスターする54の生活技術
三浦基弘+飯田朗(編)／子どもと一緒に身の回りのものの修理・修繕をすることを通して、私たちの生活の中にある「小さな生活の知恵」を家庭、学校で再発見してみましょう。●B5判・112頁・定価1680円(税込み)

合同出版 〒101 東京都千代田区神田神保町1-52
☎03(3294)3506 / FAX03(3294)3509

Windows95対応版・Macintosh版(Power PC専用)
マルチメディア百科事典 CD-ROM

マイペディア97



好評発売中

定価：本体各10,000円(税別)

項目数約62,000項目
カラー静止画約10,000点
動画・アニメ・サウンド、
音声も多数収録。

平凡社 〒152 東京都目黒区碑文谷5-16-19
振替・00186-0-29639 TEL.03-5721-1234

●新しい発想で大人にも使える初級英和

トリム英和辞典

豊田一男・山本敏子 編

英語表現に必要な事項を中心に、
内容を絞り込んだ情報発信型英和。
〈新刊〉2色刷 B6小判 1008頁 本体2200円

〒102 東京都千代田区 富士見 2-11-3 研究社 電話:03-3268-7777
FAX:03-3268-7799

古今東西
テーマ別文学全集

書物の王国

全20巻

ギリシア神話から現代文学まで、
古今東西の文学作品を不思議で
魅力にあふれたテーマ別に編集
したアンソロジー・シリーズ。
各巻平均予価2100円

国書刊行会
174 東京都板橋区志村2-10-5
FAX03-5970-7427 TEL03-5970-7421

クモの不思議な生活

〈ワイルドライフ・ブックス〉

マイケル・チナリー 斎藤慎一郎訳 世界に四万種、四億年の進化の歴史をもつクモ。幾何学的な巣の謎から、空中飛行の秘密まで、やさしくユーモラスに語るクモ学入門。

240頁/1995円(税込)

晶文社 東京都千代田区外神田2-1-12 電話03(3255)4501




<p>総合図書目録'97秋あります。ご請求下さい。</p> <p>今井淑夫ほか5氏監訳 化学大百科 本体55000円(税別)</p>	<p>清水忠雄監訳 ロクマン物理学辞典 本体25000円(税別)</p>	<p>山本正三ほか3氏編 人文地理学辞典 本体22000円(税別)</p>	<p>小池清治ほか3氏編 日本語学キーワード事典 本体15000円(税別)</p>	<p>阿部幸子ほか7氏編 被服学辞典 本体14000円(税別)</p>
---	---	--	--	--

朝倉書店 東京都新宿区新小川町6-29 〒162 ☎03-3260-0141

時代別 日本文学史事典

文学史を新たな視点で捉え直した
引けて読める初の事典

事典編集委員会編 本書は第一線で活躍している研究者51名による新しい文学史事典。重要な学術用語や参考文献を脚注で解説。既刊4冊は有精堂より刊行。小社が継続して現代編と近世編を刊行。A5判 498頁 本体各6000円

日本荘園大辞典

最新刊 本体18000円

東京堂出版 〒101 東京都千代田区神田錦町3-7 ☎03(3233)3741 辞典目録速呈

ガードナーの おもしろ科学実験

マーティン・ガードナー著 秋山 仁監訳 川北真由美/松永清子訳 次々と発想が湧き出す泉を子供たちの頭に掘り起こすことが真の科学教育である。そのためには、忘れ得ぬ不思議の実験をさせることが重要である。そんなニーズにかなう、100例のスーパー実験を紹介する。 A 5変型判/定価: 本体1400円+税

水とからだ

佐藤 威監修 飛田美穂著 水は人間の生命現象に欠くことができない。腎臓を専門とする著者が、体内での水の役割、疾病と健康との関係、栄養的役割、汚染された水が人体に及ぼす影響などについて、医学的見地から解説する。 B 6判/定価: 本体1500円+税

東海大学出版会
〒151 東京都渋谷区宮ヶ谷2-28-4 Tel.03(5478)0891 Fax.03(5478)0870

ノンフィクション・ワールド

ハイテクで解く縄文の謎

岩田一平・著 定価1,418円(税込)

ハイテク科学を駆使して、日本人の先祖のすがたを解きあかす!

女子高生・汗と涙の初登頂
■立川女子高校山岳部未踏峰コンゲルIV峰への挑戦
高橋清輝・著 定価1,470円(税込)

走れ! ソーラーカー
■光と夢の3000キロレース
中部 博・著 定価1,427円(税込)



大日本図書 〒104 東京都中央区銀座1-9-10 ☎03(3561)8679 FAX.03(3561)3065